

本県と宮城県で草の根活動に取り組むリーダー110人を紹介する「みちのくヴィジョン」第2巻が発刊された。リーダーからのメッセージと、理念や商品など9マスのまんたらを1ページに編集した文集方式で、企画編集者は「面白い活動をしている人にスポットライトを当てたい」と語った。

紹介したリーダーは20〜80代で、農家や福祉関係、クラフト作家など多岐にわたる。里山ソムリエの黒田三佳さん(米沢市)は、東京出身で海外生活を経て米沢に移住し、里山の暮らしを発信している。ネクスト・レポリューション(東根市)社長の児玉克志さんは、耕作放棄地を利用した農作物の栽培や販売を行っている。いずれも地域に根ざし、先駆者的に活動している人ばかりだ。

各ページにリーダーの写真、自己紹介や熱い思いを寄せた文章に加え、プロジェクト名や大切な

山形・宮城「みちのくヴィジョン」第2巻刊行

## 草の根の先駆者 紹介



本県や宮城県で活躍する草の根活動のリーダーを紹介している「みちのくヴィジョン」第2巻

思い、提供していることなどを書き込んだまんだらで構成した。人選と編集には5年を費やした。企画編集した柴田聖一さん(ブランドینگ・マートケテイング会社経営)は「いろんな大人がいることを知ってほしい。緩くつながるきっかけになれば」と話す。両県内の約170高校に寄付する。A4判で110頁。700部印刷した。1冊2200円。みちのくヴィジョンのホームページと、アマゾンジャパンで購入できる。問い合わせはステップアップコミュニケーションズ023(632) 7226。(江袋和貴子)

### 酒田市旧東平



## 美酒めざし 種子消毒

### 楽酒楽粋が銀山温泉活用

尾花沢市で酒造好適米「山田錦」の栽培と酒造りに取り組む農事組合法人「ドメーヌ楽酒楽粋」(近藤剛代表理事)が3日、同市の銀山温泉で源泉を活用した種子消毒を行った。

メンバー3人が山田錦の種子30kgを温泉街に運び込むと、約63度の源泉に8分間浸して殺菌した。その後はロープでつるし、温泉街を流れる銀山川の冷水にさらした。一連の作業で消毒薬を使う必要がなくなり、種子を自覚めさせる効果もあるという。

同法人が昨年栽培した山田錦は全量1等米に認定され、仕込んだ日本酒は上々の出来だったという。メン



源泉で消毒した種子は銀山川の冷水に浸した

尾花沢市・銀山温泉

令和元年を記念し、あつた泉で同窓会を開催しました。窓生100人のうち亡くなった

バーは「さらに、おいしい酒と意気込んでい

【本社】(6日)▽山形地方事務堀之内文昭支局長、務課長は新任あい岡支社に。

▽渡部康山形地支局長は新任あい北総支社に。

【酒田】◇企画像は午前9時、土曜5月31日まで。

【庄内】◇町議会前9時半、町議場。

【大石田】◇心臓行政相談は午後1時ラサ。

【寒河江】◇ふら行政相談は午後1時ルセンター。